

南信州広域連合議会
全 員 協 議 会

平成25年5月21日

南信州広域連合事務局

南信州広域連合議会 全員協議会会議録

平成25年5月21日(火) 午後 3時00分 開議

1. 開 会
2. 議長あいさつ
3. 理事者あいさつ
4. 協議・報告事項
 - (1) 検討委員の指名について
 - (2) 平成25年度職員体制について
 - (3) 次期ごみ処理施設の整備の経過報告について
 - (4) 調査研究プロジェクトの設置による地域課題への取り組みについて
 - (5) 飯田女子短期大学への要望について
 - (6) 新木曾看護専門学校(仮称)の広域連合地域推薦枠について
 - (7) 飯伊地域の地域づくり基礎調査事業の成果
 - (8) 高等教育機関に関するシンポジウムの報告
 - (9) 平成25年の火災の概要について
 - (10) 平成25年度広域連合の現況
 - (11) 平成25年度議会日程について
5. 閉 会

全 員 協 議 会

平成25年5月21日

南信州広域連合議会事務局

南信州広域連合議会 全員協議会議

日 時	平成25年5月21日（火） 午後3時00分～午後3時49分
場 所	飯田広域消防本部 3階会議室
出席者	熊谷議員、下平議員、松村議員、横前議員、原議員、中山議員、野竹議員、後藤議員、宮嶋議員、片桐議員、小池議員、高坂議員、勝野議員、勝又議員、仲藤議員、福田議員、宮外議員、中平議員、松井議員、白川議員、島田議員、湯澤議員、森本議員、小倉議員、湊議員、新井議員、清水議員、吉川議員、永井議員、福沢議員、木下議員、林議員、井坪議員、14市町村長、牧野広域連合長、伊藤副広域連合長、佐藤副管理者、山田消防長、桂消防次長兼総務課長、塩澤警防課長、松川警防課専門幹、三石予防課長、関島飯田消防署長、平岩伊賀良消防署長、北原高森消防署長、清水阿南消防署長、米山飯田環境センター事務長、北原飯田環境センター専門主査、園原飯田環境センター庶務係長
事務局	金田事務局長、渡邊事務局参事、吉川事務局次長、北原議会事務局書記長、小林事務局次長補佐兼介護保険係長、近藤事務局広域振興係長、片桐事務局庶務係

1. 開 会
2. 議長挨拶
3. 理事者挨拶
4. 協議・報告事項

No	項 目 名	資料	頁
1	検討委員の指名 …資料による説明（北原書記長）	1	5
2	平成25年度職員体制について …資料による説明（金田事務局長）	2	5
3	次期ごみ処理施設の整備の経過報告について …資料による説明（金田事務局長・米山飯田環境センター事務長）	3	6
4	調査研究プロジェクトの設置による地域課題への取り組みについて …資料による説明（吉川事務局次長・渡邊事務局参事）	4	8
5	飯田女子短期大学への要望について …資料による説明（吉川事務局次長）	5	12
6	新木曾看護専門学校（仮称）の広域連合地域推薦枠について …資料による説明（金田事務局長）	6	13

No	項 目 名	資料	頁
7	飯伊地域の地域づくり基礎調査事業の成果 …資料による説明（吉川事務局次長）	7	14
8	高等教育機関に関するシンポジウムの報告 …資料による説明（吉川事務局次長）	8	14
9	平成25年の火災の概要について …資料による説明（三石予防課長）	9	15
10	平成25年度広域連合の現況 …資料による説明（吉川事務局次長）	10	16
11	平成25年度議会日程について …資料による説明（北原書記長）		17

5. 閉 会

- (林議長) ただいまから全員協議会を開催いたします。今日も暑くなりましたのでネクタイをしている方外して、また上着もとって、クールビズでいきたいと思っておりますのでお願いします。次第には、2番、3番と挨拶が入ってございますが、本会議に引き続いてでございますので、省略させていただきたいと思っております。
- 早速、4番の協議事項、報告事項に入っております。

4. 協議・報告事項

(1) 議会検討委員の指名

- (林議長) 初めに、検討委員の指名を議題といたします。
- 本会議でも申し上げましたとおり、南信州広域連合議会議員の変更がありましたので、その指名を事務局をして報告いたさせます。
- 北原書記長。
- (北原書記長) それでは、御報告させていただきます。
- 総務・文教・消防検討委員、野竹正孝議員、湊猛議員、新井信一郎議員、清水勇議員、福沢清議員。環境・福祉・医療検討委員、中山易久議員、片桐龍男議員、仲藤重孝議員、小倉高広議員、永井一英議員、木下克志議員、井坪隆議員。建設・産業・経済検討委員、熊谷英俊議員、勝又進議員、湯澤啓次議員、森本政人議員、吉川秋利議員、以上でございます。
- (林議長) ただいま報告がありましたとおり御指名いたします。
- なお、全員協議会終了後に各検討委員会の正副委員長選出のために、各検討委員会の開催をお願いしたいと思います。
- 委員長、副委員長の互選の結果につきましては、後日、事務局をして報告をいたさせます。

(2) 平成25年度職員体制について

- (林議長) 次に、平成25年度職員体制についてを議題といたします。
- 理事者側の説明を求めます。
- 金田事務局長。
- (金田事務局長) 改めまして、この4月からお世話になっております、事務局長の金田でございます。飯田市からの派遣でございます。それでは、私から平成25年度職員体制について御説明いたします。
- 人事異動による交代につきましては、資料2で御確認いただくことにいたしまして、増員等、体制に変更のあった部署についてのみ御説明いたします。
- まず事務局ですけれども、職員数は昨年比で1名増となっておりますが、これはリア地域づくりプロジェクトを推進するため参事を置いたことによるものでございます。また、職員1名を研修のために飯田市の企画部へ派遣しております。環境センターですが、これも昨年比で臨時職員を1名増となっております。次期ごみ処理施設の整備事業を進めるため、桐林クリーンセンターから1名異動し管理係長をおいたほか、臨時職員ではございますが、都市計画、建築の専門技師1名を配置したところでございます。新たな地域課題がふえている中、十分な体制とは言えませんが、今年度はこの体制

で精いっぱい努めてまいりたいと思いますので、よろしく御指導賜りますようお願いいたします。

以上です。

(林議長) 説明が終わりましたが、御質疑はございませんか。

(「なし」との声あり)

(林議長) なければ、説明のございました平成25年度職員体制については、聞きおくこといたします。

(3) 次期ごみ処理施設の整備の経過報告について

(林議長) 次に、次期ごみ処理施設の整備の経過報告についてを議題といたします。

事務局の説明を求めます。

金田事務局長。

(金田事務局長) 先ほどの連合長挨拶の中で触れておりましたとおり、前回2月21日の全員協議会におきまして、次期ごみ処理施設で処理する対象物や規模、処理方法等についても検討したところ、その候補地を下久堅稲葉地区とすることについて御説明し、御確認をいただいたところであります。本日はその後の状況につきまして環境センターの事務長から説明いたさせます。

(林議長) 米山飯田環境センター事務長。

(米山飯田環境センター事務長) 資料の3をごらんいただきたいというふうに思います。

次期ごみ処理施設の整備の経過について報告申し上げます。

まず、1の経過でございますが、今、お話がありましたように、ことし2月21日、広域連合議会全員協議会において、昨年末、12月のごみ処理施設検討委員会からの答申と説明と、それを受けました施設の基本的事項、処理方式、用地の選定についてまとめました、南信州広域連合次期ごみ処理施設整備構想について御説明申し上げ、御確認いただきました。御確認いただきましたことを受けまして、2月24日に牧野広域連合長が下久堅地区へ伺って、下久堅まちづくり委員会の場で知久会長に対し、正式に下久堅稲葉地区を施設の整備用地として受け入れていただくように申し入れを行いました。また、上久堅地区、あるいは龍江地区の施設が隣接する地区に対しましても3月10日に上久堅地区のまちづくり委員会、3月13日に龍江地区の地域づくり委員会へ、それぞれ佐藤副市長が伺って整備用地にかかわる経過の説明と御協力の依頼、それから協議の申し入れを行いました。一方、整備用地の土地所有者の皆さんには3月2日に地権者組合設立に向けた準備組織として、地権者準備会を設置していただき、3月30日にそれぞれの方の所有地を整備用地とすることと測量などの調査の立ち入りについて内諾をいただき、5月18日、先週でございますが、用地関係者組合、いわゆる地権者組合の設立がされております。

そうした経過の中で、若干、時間的に戻りますが4月8日に下久堅まちづくり委員会から整備用地の申し入れに対する内諾という回答をいただきました。2の下久堅まちづくり委員会からの回答の詳細でございますが、4月8日に下久堅まちづくり委員会の知久会長、平沢副会長がお見えになりまして、飯田市の市長公室にて2月24日の当方からの申し入れに対する回答をいただきました。

対応しましたのは牧野広域連合長、佐藤副管理者、飯田市の企画部、広域連合の事務

局であります。

回答の内容でございますが、要望事項を付して下久堅稲葉地区を時期ごみ処理施設整備用地とすることについて、地元地区として内諾、平成25年度から生活環境影響調査、用地測量等の各種業務の実施について了解となっております。

付されました要望事項でございますが、全部で7件でございます。

地権者との協議には、誠意をもって対処すること。近隣住民の生活環境変化への諸課題については、最善の取り組みを行うとともに不安解消に向け丁寧な説明を行うこと。協定書の締結に当たっては、地元の意向を十分に聞き入れるとともに、公害防止に対し十分な配慮とその実現に努めること。地域振興策については、誠意をもって対応し、その実現に努めること。生活環境影響調査等、具体的な調査内容については事前説明すること。また、調査結果の速やかな公表と地元への説明をすること。住民のごみ処理施設の建設や運営等に対する不安や心配等に対して、今後も懇談会等を行うとともに先進地視察等を計画すること。行政側の事務処理、手続等についても順次地元情報公開することとなっております。

3の各地区への対応でございますが、この下久堅地区からの内諾の回答を受けまして、次のステップであります生活環境影響調査等の説明会を4月19日に下久堅地区まちづくり委員会と上久堅地区まちづくり委員会へ、それから30日に龍江地区対策委員会で行っております。

その後、当方からの要望、各地区からの御要望に沿いまして、下久堅地区では5月9日に地区全域の皆さんへ、龍江地区では5月8日から17日のうち5日間各区で、それぞれ生活環境影響調査、あるいは整備構想の説明会を行っております。また、上久堅地区におきましては6月初旬に生活環境影響調査等の説明会を予定しております。いずれにしても、3地区に対しまして同一歩調で協議あるいは説明を丁寧に行っていく予定でございます。

以上でございます。

(林議長) 説明が終わりました。

御質疑はございませんか。

福沢清君。

(福沢議員) この資料3の要望事項のところにあります、生活環境影響調査等というのがありますが、この辺は具体的にどのようなことをやられたかわかる範囲で教えていただけますか。

(林議長) 米山事務長。

(米山飯田環境センター事務長) 生活環境影響調査、俗に言われますアセスでございますが、これは施設建設に向けて施設周辺を含めて調査をしていくということ、それから実際に用地のほうの用地測量ですとか、あるいは近辺を含めた現況測量等々もまだ行っておりません。そういったものを順次実施していくというふうに考えております。

(林議長) 湯澤啓次君。

(福沢議員) 具体的にというふうに質問したつもりなんですけれども、大気汚染とか、それから水質検査とかそういったことはやられることで了解してよろしいでしょうか。

(林議長) 米山事務長。

(米山飯田環境センター事務長) 生活環境影響調査の中では、大気それから水質それから騒音、振動そういったものも細かい部分を調査していくということでございます。

(林議長) 福沢清君。

(福沢議員) ぜひこのようなことをきちっとやって、ここに書いてあるように公表をするということでもありますから、このようなことをやって生活不安がないようにお願いしたいと思います。

以上です。

(林議長) 要望でございますので聞きおいていただきたいと思います。

ほかにございますか。

(林議長) 小池義郎君。

(小池議員) 今、ここに先進地視察等を計画すると書いてありますけれども、これはもう具体的に場所がわかっておられるかどうか。これから、わかっておられるなら、これは今はどういふような状況になっているか説明してください。

(林議長) 米山事務長。

(米山飯田環境センター事務長) 地元からの要望でございますけれども、既にまとめました、整備構想の前段にありました全体構想という中に目指す姿というのがございまして、その中にささゆりクリーンパークという岐阜県の可児市のほうにあるんですけれども、そういったものを参考に連合廃棄でも目指す姿というのをまとめてございます。具体的にどこの施設というお話はまだ参っておりませんが、そういったところの先進地を視察に参りたいというふうには考えております。

(林議長) ほかにございせんか。

(「なし」との声あり)

(林議長) なければ、説明がございました次期ごみ処理施設の整備の経過報告については、聞きおくこととさせていただきますと思います。

(4) 調査研究プロジェクトの設置による地域課題への取り組みについて

(湯澤議員) では次に、調査研究プロジェクトの設置による地域課題への取り組みについてを議題といたします。

事務局の説明を求めます。

吉川事務局次長。

(吉川事務局次長) 事務局次長の吉川と申します。よろしくお願いたします。

それでは調査研究プロジェクトについて御説明申し上げます。本日の資料No.4をごらんいただきたいというふうに思います。

本件につきましては、2月21日に開催した前回の全員協議会におきましても御説明申し上げたところでございますけれども、今年度より3つの調査研究プロジェクトを設置いたしまして、当圏域の重要な課題をより専門的、具体的な検討を行うものでございます。

3つの調査プロジェクトは、1つといたしましてリニア地域づくりプロジェクト、1つといたしまして高等教育機関設置プロジェクト、1つといたしまして看護師等確保プロジェクトの3つでございます。

まだ始まったばかりの取り組みでございますけれども、全体の進め方と高等教育機関と看護師等確保プロジェクトについて私から説明をさせていただき、その後、担当参事よりリニア地域づくりプロジェクトについて説明をさせていただきたいというふうに存じ

ます。

趣旨については先ほど申し上げたとおりでございますけれども、資料4の2ページ目をごらんいただきたいというふうに思います。

中段からでございますけれども、まず高等教育機関設置プロジェクトでございますけれども、地域の将来を担う人材育成と高等教育機関の設置を目指す検討という検討項目、それから飯田工業高校の後利用に関する検討を主に行ってまいりたいということでございます。当面、3月にシンポジウムを開催いたしましたけれども、そのパネリストの方から具体的な御提案をいただいておりますので、その内容を軸に検討を行ってまいります予定となっております。

プロジェクトの構成につきましては、総務・文教・消防部会を中心といたしまして、現在、検討中でございます。当面の取り組みといたしまして、去る5月16日に多摩川精機の萩本社長さんとの懇談会を行ったところでございます。

看護師等確保プロジェクトにつきましては、看護職の確保対策、市町村が求める保健師、作業療法士、理学療法士などの人材確保等に関して、広域連合としての施策及び支援策の検討を行ってまいるというふうに考えております。

プロジェクトの構成は環境・福祉・医療部会を中心にごらんとおりの構成でスタートいたしますけれども、必要に応じまして有識者などをお呼びする予定でございます。

当面の取り組みといたしましては、この後、説明をさせていただく新木曾看護専門学校の地域推薦枠の取り組みや飯田女子短期大学への定員増等を予定しているところでございます。

3つのプロジェクトの検討の進め方でございますけれども、まず広域連合が担う役割というものを明確にして、検討範囲を設定することが必要であろうかと考えております。また、検討の状況により検討メンバーを拡大することを想定しております。検討状況につきましては、今後も議会及び議会の検討委員会などにおきまして御報告をしてみたいと考えておりますので、よろしくお願ひします。

私からは以上でございます。

(林議長) 続いて渡邊事務局参事。

(渡邊事務局参事) 改めまして、皆さん、こんにちは。お久しぶりでございますけれども、三たび、立場が変わりましたが、リニアを生かす地域づくりのために少しの間でございますけれども、引き続き微力を尽くさせていただきたいというふうに思っておりますので、よろしく御協力のほどをお願いいたします。

それでは初めに、資料4の2ページの上のほうでございますが、まず参考という小さな枠がございます。リニアに関しまして、広域連合が主として担う部分と市町村の担う部分ということで広域連合会議の中で役割分担を明確にしてございます。

まず、ここをちょっとごらんいただきたいというふうに思います。右側の広域連合の役割ということで、幾つかございますが、一番は1つ目のポツ、リニア将来ビジョンを具体化する施策の検討といったところがソフトの部分でございますが、将来に向けて非常に大きな柱、大事な取り組みになってくるというふうに思っております。で、それを進めていくために、次のポツでございますが、地域全体の自然環境や景観保全あるいは土地利用のあり方といったことについて連携して進めていけるようなことを考えてまいりたい。それから、あとは少し具体的なこととなりますが、トンネルの掘削土の処理の

問題でありますとか、あるいは飯田市内の全体、あるいは、この圏域内外との交通ネットワーク等々、広域的な調整、そんなことが広域連合の役割ということでございます。ここの部分について担当させていただくということでございます。

新しい議員さん方もお見えになられますので、ちょっとお時間を頂戴してということになります。この資料1枚めくっていただきますと、A3の横長の資料を2枚つけてございます。連合長の挨拶にもございましたが、平成22年に策定をいたしましたリニア将来ビジョンというのが、いろいろなリニアに関する取り組みの一番の基本になっております。そのリニア将来ビジョンとこれを取り巻くさまざまな計画につきまして、若干ここに整理をしてございます。広域連合、あるいは飯田下伊那につきましては、このリニア将来ビジョンを発端といたしまして、飯田市におきましては、現在、リニア推進ロードマップという取り組みが始まっておりますし、広域連合におきましては、この将来ビジョンを参考にしながら、平成23年から平成27年までの第3次の広域計画というものがつくられております。

それから、さらに昨年度でございますが、地方事務所と広域連合で共同で地域づくりのための基礎調査というのを行いました。あと、詳細な結果につきましては後ほど御説明があると思いますが、ここにキーワードだけ、ちょっと拾い上げてございますが、これもビジョン策定を受けて県と共同でこういう調査をしたということでございます。県は、この基礎調査等を参考にいたしまして、今年度、その下にございますけれども、県としてリニア活用基本構想の策定事業というものに取り組むということでございます。これは有識者、各層へのヒアリングを中心にまとめていかれるというふうにお聞きしております。

それからもう一つ、県では県の総合5か年計画、平成25年度から平成29年度までのものがつくられております。大きく目指す未来の姿、あるいはそれを支える仕組み、進めていくための幾つかのプロジェクトがございます。それぞれの施策を総合的に展開をしていく中で、各地域の目指す方法とその方策という、右側のほうでございますが、飯伊地域という項がございます。ここに作りたい新たな時代、伝えよう支えあう力、生き続ける文化ということで飯伊地域についても記載がされております。ここの中にはちょっと十分書きこまれておりませんが、高等教育機関の取り組み等につきましても県としても記載をしていただいているということでございます。

それから、この一番下でございますが、長野県の新総合交通ビジョン、リニア開業の年でございますけれども、平成27年までの計画がつくられております。

左側の三角がございますが、県民の生活を支える、県内各地をつなぐ、それから県内から外へ広がっていくと、大きな3つの構想ということで階層で書かれておりますが、この中にリニア中央新幹線を基軸とした交通ネットワークの構築といったことで記載がございます。こうしたことで、これからリニアの将来ビジョンというものをベースにしながら、これの具体化を図っていくことであります。

その次のA3の横長の裏表でございますが、これはリニアの将来ビジョン、あるいは先ほど申し上げました、地域づくりの基礎調査の中において有識者の方、あるいは委員の方々の意見交換の中で出てきたキーワード、課題といったものについて、ざっと整理いたしました。

まず、上の横軸の視点ということで対外的なこと、対内的なことというふうを書いて

ございますが、こちら辺は主にリニア将来ビジョンをつくったときに有識者の皆様方、いろいろと御議論いただく中で出てきたものでございます。で、対外的なものとして、グローバル化、小さな世界都市を目指す。それから高付加価値の都市圏を目指していくというのがこの地域としての一つの大きな目標ということになっております。それを進めていくために内部において守るべきものをきちっと守り、また備えるべきことについては備えていこうという項目分けになっております。

それから、左側の縦軸のほうでございますが、産む・育てる・学ぶ。住む・交流する。働く。それから裏面に行って環境ということで4つございますが、これはリニア将来ビジョンの策定した時に有識者会議とは別に地域の皆様方、各層の方、お集まりいただきまして、今、申し上げた4つの分科会に分かれまして、いろいろ議論を行いました。これを縦、横でマトリックスにいたしまして、キーワードと思われることを改めて整理をいたしました。きょうはお時間ございませんので、これ以上は申し上げませんが、いずれにいたしましても、この地域の将来のあり方を考えていく中でいろいろなヒント、それからポイントといったものが、この中に本当に凝縮されているというふうに思っております。ですから特に、新しい議員の皆様方におかれましては、こういう将来ビジョンをまとめたものもございまして、またぜひ一度御一読をいただきたいと思ひますし、また、情報共有するような機会を設けてまいりたいというふうに思っております。

そうした中で、資料4のほうにお戻りをいただきたいと思ひます。これから何をやっていくかということでございますが、リニア中央新幹線のメリットを生かす地域づくりということで幾つか書いてございます。今の時点で考えておりますことは、先ほど申し上げましたが、飯田市のリニア推進ロードマップと連携あるいは役割分担をしながら広域全体として相乗的に効果が上がるようにやっていきたいというふうに考えておりますが、今、広域連合といたしましては、外からの視点、外部からの視点でこの地域の可能性とか課題を明らかにして、具体的にリニア将来ビジョンに書かれているようなことをどう具体化していくのか、外部からの視点で少し、いろいろ意見交換、より具体的な意見交換、あるいは御提言をいただくような取り組みを進めていきたいと今、計画しております。また、同時に飯田下伊那ファンというものを拡充していく、あるいは新たに獲得をしていく、そうした活動にも取り組んでまいりたいというふうに思っております。現時点ではちょっとまだ計画中ということでございます。また、議会の部会の検討委員の皆様方にも御相談を申し上げながら、御意見も頂戴しながら計画を固めていきたいというふうに思っております。最終的には8月の議会あたりを目安に、場合によれば補正予算といったこともお願いするようなこともあるかもしれません。そんなことで、具体的な取り組みをしてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

それから、A3の横長の次にA4のペーパーをちょっと2枚つけてございます。これにつきましては連合長の御挨拶にもございましたが、去る5月13日に山梨県で開催をされました中央新幹線計画の説明会の資料でございます。参考までにごらんいただきたいと思ひます。長野県につきましては来る6月12日に文化会館で説明会があるということでございまして、県としても資料は同じようなものになるだろうと思ひますが、長野県といたしましてはその説明を聞いてから、またいろいろと具体的なことを、検討進めていきたいということでございます。ぜひ多くの議員さん方にも御出席をいただきまして、御質問、御意見等、直接御発言をいただければなというふうに思ひます。で、

この6月の説明会につきましては、昨日付で飯伊のリニアの同盟会の事務局から御連絡がそれぞれの自治体に出ておりますけれども、それぞれ自治体ごとに参加をまとめていただいているというふうでございますので、それぞれ、ひとつ、その事務局のほうに参加される方はお申し出をいただければなというふうに思っております。

以上、ちょっと駆け足でございますが、当面そんな形で、少しずつ具体的な取り組みを進めてまいりたいというふうに思っておりますので、よろしく願いいたします。

以上でございます。

(林議長) 説明が終わりましたが、御質疑はございませんか。

熊谷英俊君。

(熊谷議員) 1番、熊谷でございます。

ただいまの御説明の中にさまざまなお取り組みがあるわけでございますけれども、特にトンネル掘削の残土処理とそれから圏域内外の広域ネットワーク、これに関しては工事が着工となればほんの数年の間に残土が発生してまいりますので、それぞれ同時進行で進められるとは思いますが、ぜひこの件については当面最優先課題ということで、重点的に取り組んでいただきたいと思っております。

(林議長) 要望のようですので聞きおいていただければと。

ほかに御意見ございませんか。

(「なし」との声あり)

(林議長) なければ、ただいま説明のございました調査研究プロジェクトの設置による地域課題への取り組みについては、聞きおくこととしたいと思います。

(5) 飯田女子短期大学への要望について

(林議長) 次に、飯田女子短期大学への要望についてを議題といたします。

事務局の説明を求めます。

金田事務局長。

(金田事務局長) 飯田女子短期大学への要望について、資料5によって御説明させていただきます。

このところ看護の職員の不足が深刻な状況にありまして、今後、高齢化がますます進展するということを考慮した時に、医療機関はもとより福祉、介護施設の運営に与える影響が甚大であるというふうに考えてございます。そこで飯伊地区包括医療協議会、飯田医師会ではさまざまな看護師の確保策を進めておられますほか、広域連合としましても今年度看護師等確保プロジェクトにつきまして検討しているところであります。

そうした中、5月15日の連合会議におきまして、飯伊地区包括医療協議会と飯田医師会から、資料にもあります要望書を飯田女子短大へ提出したいという提案がありまして、広域連合としましても連名で要望していくこととなりました。

御承知のとおり、現在、広域圏内で看護師を養成する学校は今のところ看護学科を持つ飯田女子短期大学のみでございます。現在の入学募集定員が60名ということでございますが、同校としては入学定員80名で認可を受けているということでございます。そこで裏面にありましたように2点について飯田女子短期大学に要望したいということでございます。地元から一人でも多く看護学科に入学できるように学生定員の増加について検討いただきたいという内容ともう一つはそのことについて、ともに検討する場を設けていただきたいという内容でございます。日程調整がつき次第、3者合同で同校の

学長宛てに提出したいと考えているところでございます。

学生定員の増員につきましては学校の現状、講師陣ですとか、施設、運営経費等の課題が想定されます。協議を行う中で、これらの課題に対しまして、地元としても何らかの支援を求められることも想定されますので、随時報告してまいる考えでありますので、その節は御協力のほうをよろしくお願ひしたいと思います。

以上でございます。

(林議長) 説明が終わりましたが、御質疑はございませんか。

(「なし」との声あり)

(林議長) なければ、説明がございました飯田女子短期大学への要望については、聞きおくことといたします。

(6) 新木曾看護専門学校(仮称)の広域連合地域推薦枠について

(林議長) 次に、仮称であります、新木曾看護専門学校の広域連合地域推薦枠についてを議題といたします。

事務局の説明を求めます。

金田事務局長。

(金田事務局長) 新木曾看護専門学校(仮称)の広域連合地域推薦枠についてですけれども、学校の名称ですけれども、来年の4月から木曾看護専門学校が三年制の専門学校として開校する予定となっております。先日、新しい校名の検討会議が開かれておりまして、信州木曾看護専門学校ということに決まりそうでございます。

この学校については、木曾地域のみならず中南信地域におきます看護人材の育成、あと地元への就職といったことが期待されるところでございます。

定員は各年次30人でございますが、うち半分の15人程度の選考を推薦入試で行う予定となっているということでございまして、さらにこのうちの数人については木曾、上伊那、それから下伊那の各広域連合からの地域特定推薦として枠を設ける予定というふうにお聞きしております。ですので、南信州の枠については1名から2名という見込みでございます。そこで、広域連合としてどういう形で地域推薦する学生等を募集し選考するか、急いで要綱等を定める必要があります。環境・福祉・医療部会、看護師等確保プロジェクトですけれども、そこで練っているところでございます。

資料6は広域連合として行うこととなるであろう事務等について右側に整理しております。高等学校の指定校推薦との関係がありますので、近日中に要綱等を取りそろえまして、募集を開始したいと伺っておりますので御承知おきいただければと思います。

なお、木曾看護専門学校地域特定推薦のみならず、地元の飯田女子短期大学の看護学科に入学するものも含めまして、広域連合として奨学金制度等を考えるということも考えられますので、先ほど申し上げました看護師等確保プロジェクトにおいて検討をしていく所存ですので御意見等あればお寄せいただければと思います。

以上でございます。

(林議長) ただいま説明が終わりましたが、御質疑はございますか。

(「なし」との声あり)

(林議長) なければ、説明がありました新木曾看護専門学校(仮称)の広域連合地域推薦枠については聞きおくことといたします。

(7) 飯伊地域の地域づくり基礎調査事業の成果

(林議長) 次に、飯伊地域の地域づくり基礎調査事業の成果についてを議題といたします。
事務局の説明を求めます。

吉川事務局次長。

(吉川事務局次長) 飯伊地域の地域づくり基礎調査事業の成果について御報告申し上げます。

この事業は平成24年度において、下伊那地方事務所と南信州広域連合が共同で実施ものでございまして、資料No.7かあるいは黄色い表紙の報告書をお持ちの方は1ページのA3折り込みの部分をごらんいただきたいというふうに思います。

この事業につきましては第1章の趣旨にございますように、リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の開通を見据えまして、土地利用、交通体系、産業などの現状を把握いたしまして、これからの地域づくりの取り組みへの基礎資料にすることを目的としたものでございます。

第2章でございますけれども、この地域の特色や状況などを簡単にまとめてございます。

第3章は地図による飯伊地域の現状といたしまして、土地利用、交通体系、産業などにつきまして地図上に整理を行ったものでございます。報告書ではA3判に印刷してございますので、整理したデータを納品をしていただきまして、その事業にあわせて構築した地理情報システムにより任意の情報を重ねあわせて任意の範囲を参照できる状況というふうに、現在事務局のほうで準備をしております。

第4章では図表による飯伊地域の現状といたしまして、人口、土地利用、交通体系、産業などについて各種の統計データなどを用いまして、飯伊地域の現状を整理いたしております。

第5章では新幹線の新駅や発生土の活用などにつきまして他地域の調査を行ってまとめております。

第6章では長野県がこのほど策定をいたしました、新総合交通ビジョンの概要を記述しております。今回の事業では調査にあわせて、各界の有識者の皆さんにお集まりいただきまして検討会議を開催いたしました。

第7章では検討会議の議論の中で明らかとなつてまいりました、飯伊地域の今後の課題だとか、必要な取り組みについて整理を行っております。

第8章では検討会議で有識者の方々から発言のありました内容の一部を掲載しております。今回、地域づくりの検討に有用な基礎資料が得られましたので、今後十分に活用してまいりたいと考えております。

説明につきましては以上でございます。

(林議長) 説明が終わりました、御質疑はございませんか。

(「なし」との声あり)

(林議長) なければ、説明のございました飯伊地域の地域づくり基礎調査事業の成果については聞きおくことといたします。

(8) 高等教育機関に関するシンポジウムの報告

(林議長) 次に、高等教育機関に関するシンポジウムの報告を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

吉川事務局次長。

(吉川事務局次長) それでは高等教育機関に関するシンポジウムについて御報告申し上げます。お手元の資料No.8をごらんいただきたいというふうに存じます。

3月3日に飯田女子短期大学の講堂におきまして高等教育機関を考えるシンポジウムを開催いたしました。議員各位におかれましては多くの皆様に御来場いただきましてありがとうございました。当日は連合長の御挨拶に続きまして担当部会長の阿智村村長さんより経過報告、経過説明がございました。基調講演は東京大学大学院の牧野篤教授にお願いいたしました。現在の人口状態から大学を取り巻く現在の状況などにつきましてお話をいただき、高等教育機関の設置を考えるのであれば、それが地域を豊かにしていくような糧になるよう考えていくことが地域に求められるというアドバイスをいただいたところでございます。

パネルディスカッションでは野外教育研究財団の羽場理事長さんにコーディネーターをお願いいたしまして、5人のパネリストの皆様よりそれぞれのお立場から御意見や御提案をいただいたところでございます。多摩川精機の萩本社長さんからはデザインの大学院大学を設置してはという具体的な御提案をいただきました。飯田女子短大の川上先生からは同大学の取り組みや地域への貢献の状況について御説明があったところでございます。飯田医師会の市瀬会長さんからは看護師不足など地域の医療現場の状況についての御発言がございました。また伊那谷研究団体協議会の下平会長さんからは郷土愛を醸成するためには地域を知るという取り組みが必要だという御指摘をいただきました。また、牧野連合長からは「学論IIDA」などの取り組みの報告や地域の将来ビジョンについてのお話をいただいたところでございます。

全体討論では会場からの質問に対しまして、壇上より丁寧に御回答をいただいたところでございます。

最後に副連合長の下條村長さんにこのシンポジウムをスタートの日としたいということで結んでいただいたところでございます。

当日は予定しておりました時間を大幅に超えてしまったにもかかわらず、多くの皆様に最後まで熱心に御参加いただきました。まことにありがとうございました。

以上でございます。

(林議長) 説明が終わりましたが、御質疑はございませんか。

(「なし」との声あり)

(林議長) なければ、説明のありました高等教育機関に関するシンポジウムの報告については聞きおくことといたします。

(9) 平成25年の火災の概要について

(林議長) 次に、平成25年の火災の概要について御報告いたします。

事務局の説明を求めます。

三石予防課長。

(三石予防課長) それでは平成25年の火災概要について報告をいたします。資料No.9をごらんいただきたいと思います。

火災状況につきましては4月30日現在でまとめたものでございます。

1の(1)にありますとおり、火災件数は60件と昨年に比べ26件増加しました。3月に集中している状況でございます。なお、昨日現在では72件で、昨年に比べ34件の増加となっております。

1の(2)の火災種別で見ますと、それぞれ増加しておりますが、特に土手や休耕地等の火災が32件と昨年に比べ16件多くなっている状況でございます。その原因は枯れ草など、たき火によるものが突出している状況です。その中にはごみ焼きによるものも見られ、今後、市町村の担当課と連携を強化していきたいというふうに考えております。建物火災の原因の中にストーブがございますが、これはファンヒータによるものでございまして、就寝中、掛布団がずれて吹き出し口に近づいた火災や、吹き出し口においたスプレー缶の爆発火災などがございます。人的被害につきましては、死者1は自傷行為によるものでございます。気象につきましては2月、3月火災気象通報が昨年に比べ18日多く、乾燥した状況でございました。たき火火災ゼロ運動の取り組み状況でございますが、当初の予定を火災多発に伴いまして15日延長し、4月15日までの2か月半実施いたしました。関係市町村の協力をいただきながら実施することができました。大変にありがとうございました。特に今回は高齢者クラブの防火指導を新たに行っていました。いずれにいたしましても広報活動などを通して火災発生抑止に努めてまいり所存でございます。

以上で火災の概要の報告を終わります。

(林議長) 説明が終わりましたが、御質疑はございませんか。

(「なし」との声あり)

(林議長) なければ、説明のございました平成25年の火災の概要につきましては、聞きおくことといたします。

(10) 平成25年度広域連合の現況

(林議長) 次に南信州広域連合の現況を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

吉川事務局次長。

(吉川事務局次長) それでは、平成25年度広域連合の現況について御説明申し上げます。

資料No.10をごらんいただきたいというふうに思います。これは南信州広域連合の事業内容などにつきまして、毎年まとめさせていただいている冊子でございます。

今回は多くの議員さんが交代されましたので若干お時間をいただきまして、本日お配りいたしました資料No.10の2、こちらのワンペーパーでございますけれども、10の2の資料を合わせまして、広域連合そのもの自体に関する説明を中心にさせていただきたいというふうに考えております。よろしく願いいたします。

まず資料10の2をごらんいただきたいと思います。

南信州広域連合設立の経過でございますけれども、平成6年に1つの協議会と5つの一部事務組合を統合いたしまして広域連合の前進であります、飯伊広域行政組合が一部事務組合として設立がされました。その5年後となる平成11年に南信州広域連合へと移行をいたしました。広域連合は地方自治法の291条に定める特別地方公共団体でございます。一部事務組合と異なりまして、国や県の事務を譲り受けることができるほか、広域連合が策定する広域計画が法的拘束力を有するなど、多様化する広域的行政ニ

一ズに適切かつ広域的に対応することが可能とされておりまして、平成6年に創設された制度でございます。南信州広域連合が処理する事務につきましては、規約の4条に具体的に定められておりまして、お手元の資料No.10の2の裏面にその規約の4条を記載してございます。ごらんいただきたいというふうに思います。よろしく願いいたします。

それでは続きまして資料No.10、南信州広域連合の現況の3ページをごらんいただきたいというふうに思います。

議会の議員定数は規約によりまして構成市町村ごとに定められておりまして、計33名でございます。執行機関は正副連合長のほか副管理者をおくこととなっております。監査委員につきましては飯田市広域議会、それから下伊那郡監査委員協議会からお一人ずつ御選出をいただいております。また、選挙管理委員につきましては各ブロックより、それぞれ御選出いただいております。機構及び職員数につきましては4ページに記載のとおりとなっておりますのでよろしく願いいたします。次の5ページから26ページまでの部分につきましては広域連合、現在、共同処理をしております事務の概要と各会計の予算決算でございます。細かい内容まで本日御説明する時間がございませんが、またごらんいただきたいというふうに思いますのでよろしく願いいたします。

最後のほう、27ページから29ページにかけましては当面する主な課題について記述をしております。それぞれごらんいただきたいというふうに思います。

説明は以上でございます。

(林議長) ただいまの説明対しまして、御質疑はございませんか。

(「なし」との声あり)

(林議長) なければ、説明のございました南信州広域連合の現況については聞きおくことといたします。

(11) 平成25年度議会日程について

(林議長) 続いて、平成25年度議会日程についてを議題といたします。

事務局の説明を求めます。

北原書記長。

(北原書記長) それでは、平成25年度議会日程をお願いいたします。

8月26日月曜日に議会の全員協議会を予定しております。これらの付議する案件が出てまいりましたら臨時議会をお願いしたいと思いますのでよろしく願いいたします。

平成25年第2回定例会を11月28日木曜日、年が明けまして平成26年第1回定例会を2月20日木曜日、以上のように予定しておりますので日程の確保等をよろしく願いいたします。

(林議長) 平成25年度の議会日程について説明がありましたが、御発言その他ございませんか。

(「なし」との声あり)

(林議長) なければ、説明がございました、平成25年度議会日程について御確認をいただいたことといたします。

以上できょうの予定は全て終わりましたが、理事者側、何かほかにごございますか。よろしいですか。

(「なし」との声あり)

(林議長) ないようでございますので、以上をもちまして、全員協議会を閉会といたします。
長時間大変御苦労さまでした。

閉 会 午後3時49分